



CHIYODA CITY

広報千代田

平成 27 年 (2015 年)

4/1 特集号

代表電話 ☎3264-2111

発行 / 千代田区
編集 / 政策経営部広報広聴課
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
URL <http://www.city.chiyoda.lg.jp>

千代田区の面積が変更
11.64km²から11.66km²に
(平成26年10月1日現在)

※これまでの2万5千分の1地形図に基づく計測方法から、電子国土基本図に基づく計測方法に変更したことによるものです。(3月6日国土地理院公表)

平成 27 年度 予算 特集

「豊かな地域社会」の実現に向けた 積極的・効果的な予算

過去最大規模の一般会計

504億1,062万円

平成 27 年度は、今後 10 年間の区政運営の方向性を示す「ちよだみらいプロジェクトー千代田区第 3 次基本計画 2015 -」の初年度です。

高齢者人口や年少人口が増加し、区民の 8 割以上がマンション等共同住宅に居住しており、今後もマンション等の居住者の増加が見込まれます。その中で、地域の課題に多くの区民が関心を持ち、その解決に向けて、協働して取り組む仕組みづくりを支援することが重要となっています。

このような認識のもと、区民の暮らしの身近な分野である「次世代育成」「保健福祉」「危機管理」などに重点的に力を注ぐことが、区民生活を支え、守ることとなり「豊かな地域社会」を築く礎となるものと考え、平成 27 年度予算を編成しました。

問合せ 財政課 ☎ 5211 - 4143

あなたの暮らしに関わる主要・新規・拡充・独自事業を掲載

次世代育成 保育園・学童クラブ等を定員増
九段小学校・幼稚園の建設工事に着手 ▶ P2.3

保健福祉 かがやきプラザで高齢者をサポート
生活困窮者の自立を支援 ▶ P2.3

注 目 介護保険料はどうなる？ / 10 年後を見据え基金を再編 ▶ P4

危機管理 防災行政無線で情報確認
帰宅困難者対策を進めます ▶ P2

東京五輪 千代田の魅力をアピール
気軽にコミュニティサイクル ▶ P3

子育てを支える 次世代育成に関する取り組み

新たに制定した「子どもが健やかに育つための環境の確保に関する条例」に基づき、子育てを行うすべての家庭が等しく良好な子育て環境を享受できるように、必要な支援を行います。

また、保育需要、子育て支援に関する区民ニーズを踏まえて策定した「次世代育成支援計画」に基づき、保育園・学童クラブの待機児童ゼロの継続を目指すなど、さまざまな子育て支援事業を着実に実施します。

新規 拡充 私立保育園等にかかる経費 21 億 8,012 万円

子ども支援課 / 子育て推進課

平成 27 年 4 月からスタートする「子ども・子育て支援新制度」に向け、新たに認可保育所 2 園、認証保育所 1 園を開設し、定員 297 名の枠を増やしました。

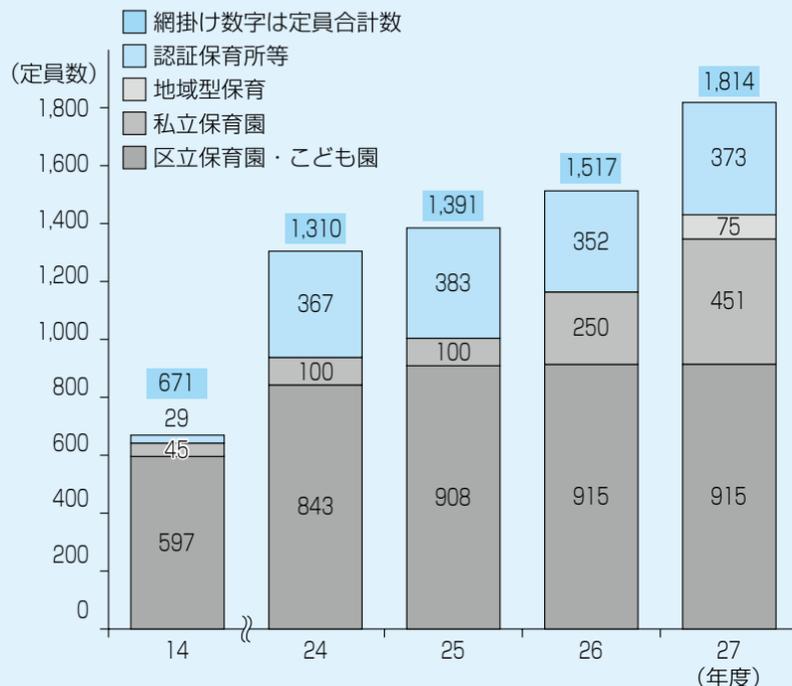
また、区独自に保育士の処遇改善支援を行い、保育人材の確保と定着率向上を図り、保育の質の確保につなげます。

さらに、保育コンシェルジュを子ども支援課の窓口配置し、保護者の多様なニーズに応じた保育サービスの情報提供を行います。



▲さまざまなイベントを実施

保育園等の定員数の推移



安心して暮らし続けられるために 保健福祉に関する取り組み

新規 拡充 独自 高齢者総合サポートセンターの整備・運営 8 億 3,558 万円

高齢者施設担当課長

平成 28 年 1 月に旧区役所跡地に高齢者総合サポートセンター（愛称：かがやきプラザ）を九段坂病院と合築で開設します。介護と医療の連携を図り、地域包括ケアシステムの要として、24 時間 365 日体制で高齢者からの相談に応じ、支援するとともに、元気な高齢者に対する活動の場・機会の確保や福祉人材等の研修、多世代交流を行います。

また、社会福祉協議会やボランティアセンター、シルバー人材センターも本施設に移転し、総合的に対応していきます。



▲多世代交流拠点(イメージ)



▲人材育成・研修拠点(イメージ)

建物のフロア構成

階	用途・機能等
13階	九段坂病院 ○健診センター○レストラン
12～6階	九段坂病院 ○病棟○医局等
5階	高齢者総合サポートセンター ○高齢者活動拠点 九段坂病院 ○リハビリテーション
4階	高齢者総合サポートセンター ○高齢者活動拠点○人材育成・研修拠点 (社会福祉協議会・シルバー人材センター)
3・2階	九段坂病院 ○診療部門○検査部門○手術部門等
1階	高齢者総合サポートセンター ○高齢者の相談拠点○多世代交流拠点 九段坂病院 ○在宅ケア(医療)拠点 ○救急○コンビニエンスストア等



▲施設の外観(イメージ) ~お濠に臨む旧区役所跡地に開設~

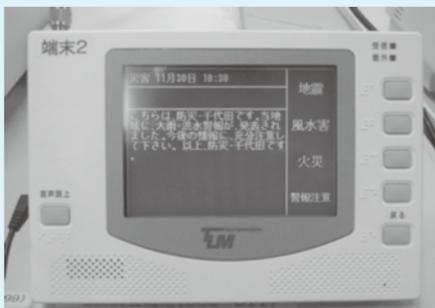
災害から身を守る 危機管理に関する取り組み

拡充 防災行政無線維持管理 8 億 2,104 万円

災害対策・危機管理課

防災行政無線のデジタル化更新整備を行い、災害情報を文字で伝えることができる文字表示盤を、スピーカーの柱の一部に設置していきます。

また、新たに戸別受信機を区内施設や町会、大規模マンションなどに設置していきます。



▲戸別受信機

拡充 備蓄物資・機器等の整備 9,962 万円

災害対策・危機管理課

区は、発災から 3 日間程度必要な物資や女性、子育て世代に配慮した物資(体拭き、子ども用おむつなど)を備蓄しています。

平成 27 年度は、引き続き必要物資を更新配備し、物資の再配備等を検討していきます。



▲さまざまな備蓄物資を準備

帰宅困難者対策 542 万円

災害対策・危機管理課

地域協力会と連携するとともに、シェイクアウト訓練を含めた実践的な千代田区帰宅困難者対応訓練を実施します。

また、企業や民間事業者等と、帰宅困難者の一時受入の協定締結に向け、引き続き連携・協力を図っていきます。



▲シェイクアウト訓練

特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 11 億 7,862 万円

建築指導課

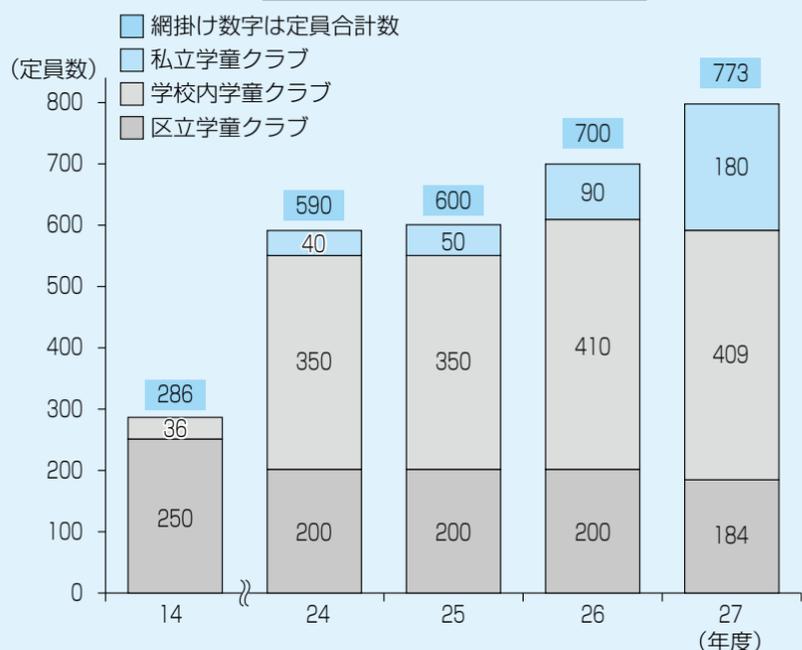
地震による建物の倒壊などの被害から、区民の生命・財産を保護するとともに、避難経路や救援物資の運搬などの閉塞を防ぐため、特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進していきます。

拡充 私立学童クラブ等にかかる経費 4億9,811万円

児童・家庭支援センター

平成27年4月から学童クラブの定員を73名増やし、区内在住の小学1年生から3年生までは、必ず区内の学童クラブに入れるようにします。また、小学4年生から6年生も可能な限り受け入れていきます。

学童クラブ等の定員数の推移



拡充 九段小学校・幼稚園の整備関連事業 6億1,126万円

子ども施設課/学務課

九段小学校・幼稚園は、平成27年9月から仮校舎に移転するとともに、新校舎の建設工事に着手し、平成30年4月の供用開始を目指します。



▲九段小学校・幼稚園(完成イメージ)

関東大震災後に復興小学校として整備された現校舎の歴史的価値を継承しながら、子どもたちにとって明るく健康的な生活空間、地下体育館、屋内プールなど、現代の教育ニーズを踏まえた設備を備えた校舎になります。

また、災害時には避難所など防災活動の拠点となり、夜間・休日には利便性とセキュリティに配慮した地域に開かれた施設になるよう整備します。

拡充 **独自** 子どもの予防接種 2億4,765万円

健康推進課

区は、定期予防接種化の方向性が示されているワクチンについて、他の自治体に先駆けて任意接種として独自に助成をすることで、感染症予防対策を推進してきました。平成27年度は、現在実施しているおたふくかぜ予防接種(全額助成)、インフルエンザ予防接種(一部助成)に加え、1歳になるまでの乳児に対し、23区初となるB型肝炎予防接種費用の全額助成を開始します。

新規 生活困窮者自立支援 504万円

拡充 受験生チャレンジ支援 51万円

生活支援課

平成27年4月施行の「生活困窮者自立支援法」に基づき、経済的に困窮し、社会的に孤立するなど自立した生活を送ることが困難となった方が、生活保護に至らないよう、早期に支援できる相談窓口を設置します。相談窓口では、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための総合的支援を行います。

また、一定所得以下の世帯の子どもへの支援として、学習塾や受験の費用を無利子で貸し付けする東京都の制度「受験生チャレンジ支援貸付事業」に、区独自で上乗せして高校生の大学等の受験料を助成します。

新規 **独自** マンション地域生活協力員 116万円

福祉総務課

区内の配置可能なマンションに「地域生活協力員」を任命・配置します。これによりマンション住民に対し、民生・児童委員と協力した見守り活動などの地域福祉活動を推進していきます。

新規 **独自** 介護サービス等自己負担額一時助成 1,162万円

高齢介護課

介護サービスの利用者負担割合が2割に引き上げられる方のうち、一定所得以下の方に段階的な緩和措置として、負担割合を区独自(23区初)で1割に軽減します。

また、施設入所者の食事・居住費の軽減対象外となる方に、区独自(23区初)で軽減します。

拡充 **独自** 介護保険施設等人材確保・定着・育成支援 4,691万円

拡充 **独自** 介護施設助成 1億1,016万円

高齢介護課

介護従事者の処遇を改善するための労働環境改善や人材育成、住居手当の補助など、直接職員の処遇向上となる独自の支援策を引き続き実施していきます。

また、介護報酬引き下げ後も入所者が安心して暮らせるよう、事業運営補助をさらに充実し、介護サービスの質の向上を確保していきます。

魅力があふれるまちへ 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取り組み

新規 千代田区サイン計画の策定 1,000万円

オリンピック・パラリンピック担当課長

東京オリンピック・パラリンピック開催を目的に、区内に設置している各種案内表示等のサインを「風格あるまち千代田」にふさわしい統一感あるものにしていくための計画を策定します。

拡充 **独自** 千代田区シティプロモーションの推進 1,078万円

オリンピック・パラリンピック担当課長

区内在住・在勤・在学者で構成される「(仮称)魅力選定会議」を設置し、多様な視点から区の魅力について議論し、魅力を体系化していきます。

新規 **独自** 地方との連携支援 500万円

地域振興総務課

千代田区の集客力・情報発信力を活かし、「場」を提供することで名産・特産品などのPR活動を支援し、地方都市との連携を深めます。

新規 観光支援事業 666万円

地域振興総務課

今後、外国人訪問者の増加が見込まれる御茶ノ水駅周辺・神田小川町、神田神保町、秋葉原、神田駅周辺の4地区において、民間団体などが運営または運営を予定している観光案内所で、順次、多言語の観光案内ができるよう経費を補助します。

バリアフリー歩行空間の整備 4億3,195万円

道路公園課

だれもが安全で快適に移動できるまちをめざして、道路のバリアフリー化を推進していきます。

コミュニティサイクル事業 6,441万円

交通施策推進課

コミュニティサイクル(愛称:ちよくる)のサイクルポート増設(3月23日現在29か所)と配置の適正化を図ります。

また、広域展開に向け、周辺区および東京都と締結した基本協定に基づき、連携を推進していきます。



▲区役所前のサイクルポート

拡充 **独自** 生活環境改善推進 1億2,131万円

安全生活課

区民が生活しやすい環境をつくるため、引き続き路上喫煙巡回パトロール等を行っていきます。また、小規模分散型喫煙所の整備や公園等の分煙化・禁煙化に取り組んでいきます。

その他の主要な取り組み

- 新規** 千代田区戦争体験記録集 1,741 万円
- 新規** 終戦 70 周年平和イベント 184 万円

国際平和・男女平等人権課

「未来の語り部」になることを期待して、戦争体験者へのインタビューを区内の中学生や高校生などが担い、区民参加による戦争体験記録集を作成し、平和啓発を行っていきます。

また、平成 27 年 8 月に太平洋戦争が終結してから 70 年を迎えるにあたり、著名人による平和講演と平和使節団参加者の報告会を行う「平和イベント」を開催します。



▲平和使節団報告会



▲平和イベント(平和のつどい…未来へ)

介護保険料の改定

高齢介護課

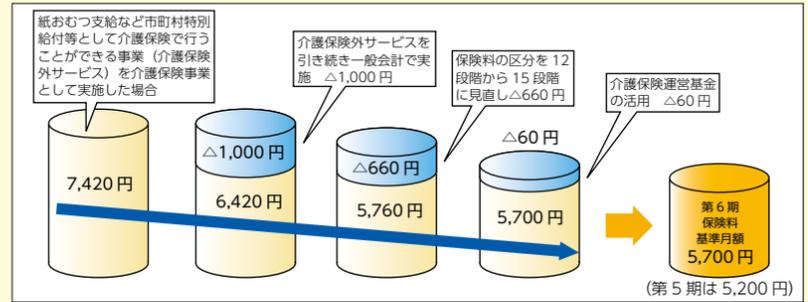
要介護（要支援）認定者の増加・サービス利用量の増加などにより、介護給付費が増加し、65 歳以上の第 1 号被保険者保険料が上がります。

そこで区は、保険料の上昇を抑制するため、さまざまな方を講じ、1 か月あたりの保険料基準額を 5,700 円（改定前 5,200 円）にしました。その結果、都心区では、一番低くなっています。

さらに、所得の低い方に配慮した見直しにより、第一段階、第二段階では改定前より保険料が安くなります。

保険料上昇抑制策

- ①紙おむつの支給などのサービスを、引き続き介護保険外の一般施策として実施し、基準月額を 1,000 円軽減します。
- ②負担能力に応じた保険料段階の見直しを行い、現行の 12 段階を 15 段階として、基準月額を 660 円軽減します。
- ③区の介護保険運営基金の取り崩しにより、基準月額を 60 円軽減します。



10 年後を見据えた基金の再編

千代田区の目指すべき 10 年後を見据え、いかなる財政状況下でも子育て・高齢者福祉・環境分野の施策を着実に推進していく財源を確保するため「基金の再編」を行いました。

新規に設置する基金

子ども・子育て支援事業基金 80 億円

保育需要への対応・保育の質の向上など、子どもたちが健やかに育つための環境づくりを実現し、子どもを安心して育てることができるように、必要な財源を確保するための基金です。



高齢者福祉基金 90 億円

地域包括ケアシステムを構築し、高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らし続けられ、活力ある地域社会づくりを推進する事業に必要な財源を確保するための基金です。



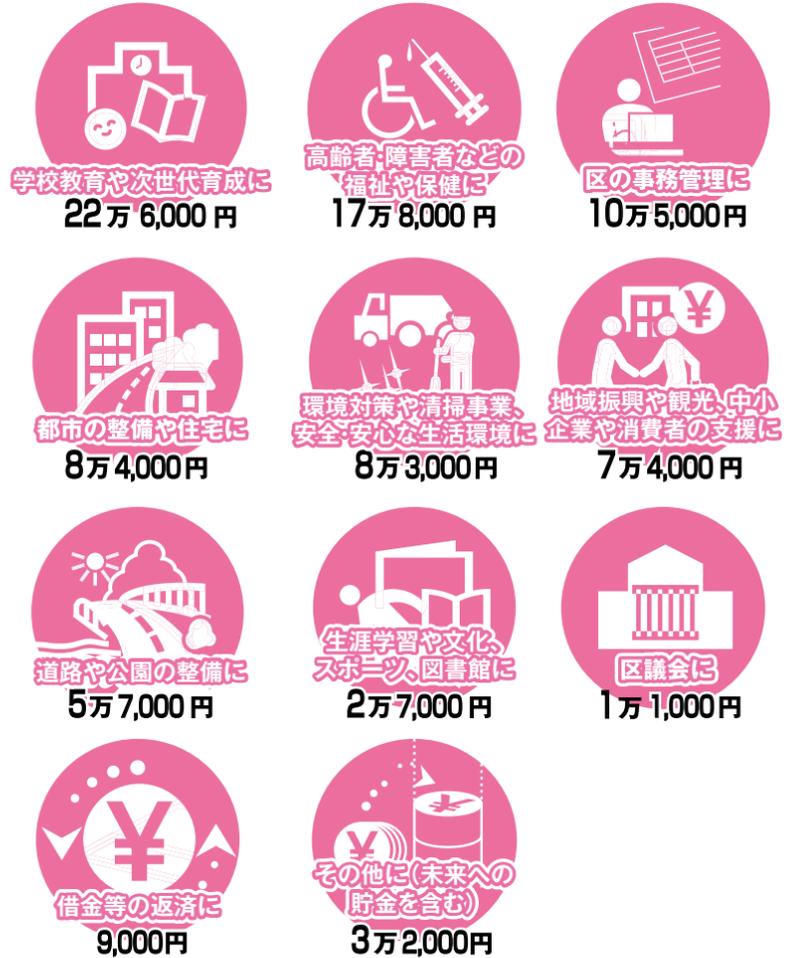
環境対策基金 70 億円

CO₂（二酸化炭素）の削減に寄与するなどの地球温暖化対策事業に必要な財源を確保するための基金です。



1 年間の区民 1 人当たりの支出額

88万6,000円



平成27年度一般会計予算を施策分野ごとに、平成27年1月1日現在の住民登録者数 56,873人で割った金額です(1,000円未満は四捨五入しています)。

各会計予算の規模

(単位：百万円)

会計名	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
一般会計	50,411	47,169	3,241	6.9%
国民健康保険事業会計	5,982	5,117	865	16.9%
介護保険特別会計	4,363	4,127	237	5.7%
後期高齢者医療特別会計	1,533	1,454	79	5.4%
合計	62,289	57,867	4,422	7.6%

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。

詳しくは「区の仕事のあらまし」で

平成 27 年度予算を、より詳しく、わかりやすくまとめた「平成 27 年度 区の仕事のあらまし」は、4 月中旬から区のホームページでご覧になれます。また、情報コーナー（区役所 2 階）でも販売（1 部 600 円）します。

